

2022年11月10日

各位

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会
「航空宇宙システムのダイナミクスとデザイン」
代表 下村 卓

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会開催のご案内

2022年度の第3回研究会を以下のように開催させていただきます。

大阪府立大学名誉教授である千葉正克氏に、実験の重要性について液体と構造の連成挙動を例にご講演いただきます。

ご多忙のことと存じますが、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

2022年度 第3回研究会

日時：2022年12月12日(月) 15:00～16:30

会場：大阪公立大学大学院 工学研究科 B6棟 105教室

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

<https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

講演：タンク内液体と構造の連成挙動：実験から初めてわかること

大阪府立大学名誉教授

千葉 正克氏

講演概要：

航空宇宙機において、内部に液体を有するタンクは、打ち上げロケットの燃料タンク、衛星の燃料タンク等に見ることができます。タンクが動くと内部液体に動揺(スロッシング)が発生し、それがロケットや衛星の姿勢制御に影響を及ぼすことが考えられます。そこで、液体と弾性構造の連成挙動特性を理論と実験の両面から解明しておくことが重要になります。

本講演では、弾性壁面を有する円筒タンクの自由振動や水平方向の加振実験や、弾性底面を有する円筒タンクの自由振動実験などで観測された、これまで一般に考えられた(予想)とは異なる現象事例を紹介します。

参加費：無料 どなたでも参加いただけます。